

# 甲府市議会だより

第 135 号

平成14年11月1日

編集・発行  
甲府市議会だより  
編集委員会  
電話(235)7054  
甲府市議会事務局



市長提案19案件を可決・同意

9月定例会

決算審査特別委員会を設置

## 本会議を傍聴してみませんか

本会議では、皆さんの代表である議員の活動や審議状況等を傍聴することができます。議会事務局までお問い合わせ下さい。次の定例会は12月の予定です。



九月定例会は九月三日に招集され、会期を十二日までの十日間と定め、市長から提案された甲府市・中道町・芦川村・上九一色村合併協議会の設置、補正予算、条例の制定及び一部改正、市道路線の認定、人事案件等について審議しました。

九月六日、九日及び十日の三日間は、議案に対する質疑及び市政一般質問が行われ、各会派より十名の議員が代表質問・一般質問を行い、市の考え方をいただきました。

十一日に行われた各常任委員会では、本会議で付託された議案及び請願・陳情について慎重に審査しました。

最終日の本会議では、各常任委員長から委員会審査の経過と結果が報告され、採決の結果、議案はいずれも当局原案のとおり可決されました。

また、平成十三年度甲府市各会計別決算並びに各企業会計別決算の認定については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中継続審査とすることを決め、閉会となりました。

# 合併協議会の設置等を可決

九月定例会には、甲府市・中道町・芦川村・上九一色村合併協議会の設置、補正予算、条例の制定及び一部改正、市道路線の認定、市政功労表彰の決定、教育委員会委員の任命、公平委員会委員の選任等の議案が提案され、審議の結果、原案どおり可決しました。

また、平成十三年度一般会計及び企業会計の決算については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中継続審査とすることになりました。

## 九月三日(火)

定例会初日は諸報告を行い、会議録署名議員の指名及び会期を決定し、議会運営委員会の補欠委員の選任、常任委員会委員の所属変更、次に、市長より提出議案全部に対する提案理由の説明を受け、この日の日程を終了しました。

## 九月六日(金)

議案調査のため二日間休会後、再開した本会議は、公明党の代表質問から始まり、長期生活支援資金制度、レスパイト事業の拡大、ノーレジ袋推進運動の展開等について市の考えをたきました。

次に日本共産党の代表質問が行われ、小学校の適正規模・適正配置、長期休業中の留守家庭児童会、要介護認定者の所得控除等について市の見解を求めました。

続いて新政クラブの代表質問が行われ、住民基本台帳ネットワークシステム、電子市役所の推進、広域行政等について市の考えをたきました。

## 九月九日(月)

質問第二日目は始めに政友クラブの代表質問が行われ、個人情報保護に係る制度面の整備、電子市役所の構築、女性政策の庁内推進体制等について市の見解を求めました。

代表質問の最後は日新クラブが行い、新たな行政改革大綱の策定、市町村合併、ごみ減量と資源リサイクル等について市の考えをたきました。

三人目からは一般質問に移り、新政クラブが男女共同参画社会づくり促進の施策、南甲府駅東口の開設、歩道の段差の改良整備等について市の見解を求めました。

## 九月十日(火)

質問最終日は、新政クラブの一般質問が行われ、民間が行う事業への支援、北口地区整備構想の情報公開、合併後のまちづくり等について市の考えをたきました。

次に新政クラブの一般質問が行われ、福祉バスの活用等、今後の

商店街活性化の取組み、防災対策等について市に見解を求めました。

次に政友クラブの一般質問が行われ、甲府の歴史を伝える教育、ボランティアの仕組みづくり、選挙公報の発行等について市の考えをたきました。

質問の最後は社会民主党の一般質問が行われ、食品品質表示、エコーランの見直し、小学校の統合とまちなか居住再生事業等について市の考えをたきました。

その後、小学校の適正規模・適正配置に関して関連質問が行われました。

また、追加提案された市政功労表彰の決定、教育委員会委員の任命、公平委員会委員の選任等を含む議案及び請願・陳情はそれぞれ所管の常任委員会に付託されました。

## 九月十一日(水)

この日は本会議は休会で、各常任委員会が開催されました。

この日は、各常任委員長から委員会審査の経過と結果についての報告がありました。

総務委員会では、合併協議会の設置・合併協議会負担金を含む予算に対して、市民の声を反映した論議を重ねるべきであり反対との意見と、法定協議会が民意を反映させる場であり賛成との意見がありました。住民基本台帳ネットワ

ーク見直しの決議を求める陳情について、個人情報漏洩対策が万全でないから採択との意見と、法律に基づく事務であり採択との意見がありました。また、日本共産党から合併協議会の設置及び法定合併協議会負担金についての討論があり、市民が是非を判断できる情報や機会のため論議を深める必要があり反対するという意見と、日新クラブから、合併に関する事項を具体的に協議するためには早急に協議会を設置する必要がある賛成との意見があり、採決の結果多数をもって可決と決しました。

民生文教委員会では、介護保険事業の基金への積み立て財源を保障料の減免にあてるべきであり反対との意見。また、国民健康保険条例の一部改正案は保険料の増額につながるの反対との意見がありました。一般会計補正予算について、財源としてスポーツ振興くじ助成金が当てられているため反対との意見がありました。

経済建設委員会では、甲府銀座ビル活用に投下する費用に対して、今後の経済的効果の検証を求める意見と、同ビル活用について地元商店街との協議継続を求める意見がありました。

環境水道委員会では、平成十四年度補正予算等について可決しました。付託された案件は、いずれも委

員長報告のとおり可決しました。

次に、甲府市議会議員の派遣に ついて、日本共産党が市政調査のため必要不可欠を除き、海外視察は自粛すべきとの反対意見がありました。したが、多数をもって派遣することに決しました。

追加提案された、平成十三年度甲府市各会計別決算の認定、甲府市各企業会計別決算の認定については、委員十四名で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託のう え、閉会中の継続審査とすることと決定し、九月定例会は閉会となりました。

## 九月定例会審議日程

9月3日(火)	開会、提案理由の説明
4日(水)	議案調査のため休会
5日(木)	本会議、質疑及び市政一般質問
6日(金)	本会議、質疑及び市政一般質問
7日(土)	休会
8日(日)	休会
9日(月)	本会議、質疑及び市政一般質問
10日(火)	本会議、質疑及び市政一般質問、各常任委員会付託
11日(水)	各常任委員会
12日(木)	本会議、各常任委員長報告、閉会



# 市政 質問



(要旨掲載)

## 介護保険料の 減免及び改定は

(公明党)

【問】介護保険制度がスタートして三年目に入り、アンケート調査を実施し、介護保険事業計画や介護報酬、保険料の改定など見直しの作業が始まっております。

サービスの内容及と料金のバランスを計り、保険財政の健全化や民間事業者の経営上の採算が成り立つように、報酬や保険料を見直すなければなりません。特に、低所得者に対する配慮に万全を期していく必要があります。

第一段階から第二段階までの保険料減免拡大について、回答をお示しください。また、保険料の改定についてお答え願います。

【答】介護保険料は所得段階に応じて五段階による定額保険料を設定しており、現行の第一・第二段

階に属する低所得者層の方については国の示した三原則を遵守し、制度枠内で可能な低所得者に配慮した措置を講ずる必要があると考えています。今後、介護保険市民運営協議会からの答申をいただき、保険料軽減について十一月議会でも条例改正を行えるよう諸準備を進めて参りたいと考えています。

介護保険料の改定であります。今後、国から示される費用額の算定及び保険料算定に係る諸係数や介護報酬等の改定が見込まれることから、保険料の改定につきましては引き続き介護保険市民運営協議会において慎重なご審議をいただいて参りたいと考えています。

## 高齢者医療費 助成制度は

(日本共産党)

【問】自民・公明・保守の与党は国会で健保本人三割負担、高齢者

の一割負担などの医療改善を国民の声を無視し、強行採決しました。これにより、十月から七十歳以上の高齢者は一割、高額所得者は二割の自己負担を外来で必ず支払うこととなります。加えて、限度額を超えた場合には後日償還払いとなるという煩雑な手続きも必要となります。

こうした中、甲府市の六十五歳からの医療費助成制度はますます重要となつてきます。山梨県の動向いかんに関わらず、今後もこの制度をしっかりと堅持していくことを求めます。見解を求めます。

【答】今回の老人保健法の改正は、対象年齢の段階的引き上げ、自己負担定率一割、一定以上の所得者二割、の自己負担限度額が引き上げられ、公費負担の割合も引き上げられることなど大幅改正となりましたので、本市も制度改正に伴う体制づくりや制度改正への準備を進めているところであります。

本市の高齢者医療費助成制度は、医療費の負担軽減を図り、老人福祉の増進に寄与する目的で、六十五歳以上の高齢者を対象に医療費の助成をする制度であります。

国の改正に伴い本市の公費負担額も増大しますが、今日の社会情勢の中で高齢者が健やかに生活し、健康で生き生きと暮らすまじづくりに目指すためにも、本制度を継続して参りたいと考えております。

## 平成14年 9 月定例会質問要旨

氏名	所属	質問の要旨
秋山 雅司	公明党 代表質問	介護保険料の減免及び改定について 保証人のプライバシー保護について 電子投票について
石原 剛	日本共産党 代表質問	高齢者医療費助成制度について 介護保険料の減免制度創設について 住民健診について
飯沼 忠	新政クラブ 代表質問	小学校の適正規模・適正配置について IT化の推進と市民参加について 市町村合併について
雨宮 年江	政友クラブ 代表質問	総合的な外国人対策の展開について 会議の公開と情報開示について 男女共同参画推進のための条例制定について
原田 英行	日新クラブ 代表質問	新行革大綱の未実施項目と今後の対応について 開発行為と計画的な街づくりについて まちなか居住再生事業の進捗状況と商工会議所との連携について
海野平八郎	新政クラブ 一般質問	保健事業等の推進について 男女共同参画推進条例の制定について 本市の少子化対策の現状と今後の対応について
野中 二二	新政クラブ 一般質問	北口県有地の整備について 旧トボスピルの活用策について 合併後のまちづくりについて
深沢 芳次	新政クラブ 一般質問	今後の商店街活性化の取り組みについて 今後の交通施策のあり方について 防災対策について
柳沢 暢幸	政友クラブ 一般質問	小学校の適正規模・適正配置について 小学校給食の民間委託について 地場産業の後継者の育成と支援について
中込 孝文	社会民主党 一般質問	食の安全に係る消費者行政について 市場の役割と今後の展望について 統廃合説明会及び大里小ブレハブ校舎への対応について

### 小学校の適正規模・適正配置について

#### (新政クラブ)

【問】地域集会の中から反対の声が上がっていますが、どのように受け止めるのか、またこれまでに出された地域等の意見、提言をどのように取り込むのか。

基本計画の見直しと十七年度の開校目標の変更はあり得るのか。総括してお示し願います。また、適正規模及び通学距離を考慮した学区設定の基本的な考え方。自治会組織のあり方。地域に開かれ調和した学校としての機能。地域の実情に合った通学区域の運用と交通安全対策。学校選択の弾力性。跡地利用の市内中心部の活性化、都市づくりへの取り組み。構想提示経過説明等に手落ちはなかったか。穴切、相生、富士川の三地区では、教育委員会の構想に凍結や撤回を求める内容の署名活動が進められています。どのような対応をしていくつもりかお示しください。

【答】中心部児童数の減少傾向は看過出来ない教育課題であり、構想は一定規模の集団の中で主体性や社会性など適正な教育環境を整備することを目的としており、こ

分になされなかったことが反対の署名活動に繋がったものと思われるので、早急に適正規模化を図る必要がありますことから、基本構想を示しました。

通学の安全性については課題もありませんが、中心部は都市基盤の整備が進んでいることから特に危険箇所は見受けられない状況と考えており、学区については保護者の意見をお聞きする中で弾力的な運用を図ります。また、開かれた学校とするため、施設開放を行うなど地域コミュニティ活動の拠点となるような整備を行って参ります。

なお、跡地は地域の皆様と十分な話し合いを行う中で進めたいと考えています。今後なお一層、話し合いを継続して参りたいと考えております。

### 男女共同参画推進のための条例制定は

#### (政友クラブ)

【問】こうふ男女共同参画プランという行動計画がありますが、義務を課し、権利を制限する法律の性格を有するものとして、国の基本法を基本に、地域特性をふまえた条例制定すべきだと考えます。

また、条例の名称を男女平等推進条例と明確にするとともに、格

差を是正するための積極的措置については積極的改善措置ではなく、積極的是正措置とし、相談、苦情処理機関の設置、推進状況や施策の実施状況を明らかにする年次報告の義務づけなどを盛り込んだ条例をつくるべきだと思います。

【答】男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる社会実現のため、こうふ男女共同参画プランを策定したところであり、実現には行政、市民、事業者が相互に連携・協力して積極的に取り組むことが重要であり、基本理念や推進に関する基本的事項などを定める条例の制定は、プラン推進に大きな意味を持つものと考えます。

従いまして、地域の特性を生かした男女共同参画社会を実現するため国の基本法や県の条例、他都市の状況等も調査研究を進めながら、条例制定に向けて準備を進めてまいります。

### まちなか居住再生事業の進捗状況と商工会議所との連携は

#### (日新クラブ)

【問】都市再生と人口増加の取り組みとして、平成十四年度からま

ちなか居住再生事業がスタートしました。「盆地の顔」とも言うべき、本市の中心市街地の再生に向けた事業の進捗状況について、お答えをいただきたいと思ひます。

また、いろいろな要素がリンクしないと活性化は実現しないと考えますが、その一つである、商業の活性化の主体をなすTMOの甲府商工会議所と、まちなか居住再生推進室との連携について、どのように行っているかお伺いいたします。

【答】中心市街地の活性化のためには昼間人口はもとより定住人口の増加が必要と考え、まちなか居住再生事業を重要施策と位置付け、支援制度を設け事業推進を図っております。

支援制度の活用状況は、共同住宅建設・改修費申請及び認定一件建設・改修計画相談七件、家賃助成申請二件、街づくり研究会補助申請一件、その他協議・相談二十二件となっており、広報誌やパンフレット配布や説明会等、今後もあらゆる機会を通じ活用されるよう周知に努めて参ります。

中心市街地の活性化のためには定住人口の拡大とともに、中心市街地の振興も重要な課題であり、商工会議所との連携を図りながら、TMO事業の推進への支援や再開発事業の立ち上げにも引き続き努めて参りたいと考えております。

### 本市の少子化対策の現状と今後の対応は

#### (新政クラブ)

【問】二千一年の合計特殊出生率は過去最低を記録しました。

少子化対策として広範囲、精神的に取り組んできたことは認めますが、効果という評価は難しい段階であると思ひます。どう思っておられるかお伺いいたします。

大切なことは子ども数か、親にとつて魅力のあるまちづくりか、子どもや若者がよりよく生活出来るまちづくりとして考えるべきか問われています。少子化対策は社会構造全般に係ってやることから、一部の関係部局だけでなく全庁的に検討すべきかと考えますが、考えをお聞かせください。

【答】少子化の要因は、社会経済的な側面だけでなく多面的に捉える必要があります。対策は多岐に及び、甲府市は、乳幼児医療費助成制度の対象年齢の拡大、多子世帯保育料助成制度の導入、留守家庭児童会の開設時間延長、保育士の資質向上対策、幼稚園における子育て支援活動促進なども講じているところであり、今後も市政の最重要課題として中長期的な視点に立つた効果的な施策について調査検討を進め、着実な実施に取り組んで



参りたいと考えております。  
なお、来年度には児童計画を見直す中で、関連施策の再構築を図る予定ですので、全庁的な推進体制のあり方も併せて検討して参りたいと考えております。

### 旧トポスピルの活用策は

#### (新政クラブ)

【問】旧トポス跡の一、二階へ食品スーパーが出店を決定し、あわせて市としても三、四階へ女性交流センターや保健、育児の相談窓口、地域住民へのイベントスペースなどの開設を計画するなど様々な動きがあるようですが、小さいお子さんが勝手に遊べるような安全な空間、例えば人工芝を引いて周囲にクッションを貼り付けたような空間の併設はあり得るのかどうかお答え願います。

町の賑わいというものは一軒の核店舗でなしえるものではなく、そこで営む各商店の方々の総力によるものと理解しています。せっかくのチャンスですから、これからのときに決断してくれて良かった。」と言わしめるような、行政としてできる限りの支援をするべきと考えますが、如何でしょうか。

【答】中心市街地活性化の核施設

としての旧トポスピルの活用策につきましても、市民の交流の場として、女性交流、イベントホール、福祉保健関係など気楽に利用できる施設を提供し、中心市街地の活性化と賑わいを創出して参ります。

### 今後の交通施策のあり方について

#### (新政クラブ)

【問】活力ある・魅力あるまちづくりには、公共交通機関の充実が重要であり、交通機関の安定が図られるように、公共交通システムの実現を望みます。

さらに、多世代の消費者に満足が行く商業エリアを提供することが大切で、その為に市街地としての利便性を高める必要があります。また、商店街の活性化は行政で企画して施策する事には限界があります。商店街の方々・商工会議所・行政が目的を決め年次の取り組みを進める必要があります。

ここ数年の甲府市の未来像をお聞かせください。

【答】近未来の交通はパークアンドバスライドやコミュニティバスなどの活用、道路のバリアフリー化や人に優しい公共輸送、環境負荷の軽減、さらにハードからソフト事業に至るまで、総合交通政策的な視点が求められるのではない

かと考えられます。

また、中心市街地活性化の諸施策も展開されTMO構想を実現していくため市民、商業者、TMO、行政が手を携え、着実な推進が図られたとき甲府市は、さらに活力ある、魅力ある都市に発展するものと信じております。

### 小学校の適正規模・適正配置について

#### (政友クラブ)

【問】中央部関連十校をA、B、Cブロックに分けた案は決定なのか否か。また、統廃合するにつけては多くの人の合意が必要であると考えため、もう少し時間をかけて議論するべきと考えます。

次に、B・Cブロックの統廃合の実施時期、跡地利用等について、考えをお示しください。

次に、統廃合と地域の教育力の関係・審議会の答申は今回の手法のどこに生かされているか。現場教師が議論の中になぜ急に出てきたのか。適正配置審議会のメンバーによる再論議の予定があるのか。徹底した住民主導の中心部小規模校問題の解決をなぜしなかったのか。お答えください。

【答】三ブロックは児童数の実態、通学距離・地理的条件を勘案する中で決定したものであり、B、C

ブロックは今後の児童数の状況等を見据え検討を行って参ります。

この構想に異議を唱える意見も出されていますが教育委員会としての喫緊の課題であり、適正規模化による一定集団の中で互いに切磋琢磨し、たくましく心豊かな児童を育成するための教育環境の整備を目的とし、これまで市議会、関連地域などから色々な意見要望を頂く中で具体案を示したところ。今後とも理解が得られるよう努めて参ります。跡地利用は、提案も含め地域の意向をお聞きする中で対応して参ります。

また、当時のメンバーによる審議会の論議は考えておりません。現場教師は、これまで審議会等専門的立場から意見をいただいていたところ。

地域に根付いた人、物、自然は子ども達の教育に優れた影響を与える価値あるもので、これまで各学校に寄せられた力を新たな学校に結集することにより、より豊かでより大きな教育力を期待し、実現できるものと考えております。

### 市場の役割と今後の展望は

#### (社会民主党)

【問】最近の行革では、「公設市場の役割は終わった」とい

声も聞きます。しかし、生鮮食品品に利益第一の競争にゆだねてはいけないと思います。甲府市中央卸売市場でも施設の老朽化が進む中、予算の削減により十分な整備が出来ていないと聞きます。

このような時代であるからこそ十分な施設の整備と人員増、専門職の配置が必要だと考えます。生産者と消費者をつなぎ卸売市場で取引された生鮮食品のメリットをアピールすることが必要だと考えます。お考えを聞かせてください。

【答】卸売市場は、日常生活に不可欠な生鮮食品の円滑な流通と取引の適正化等を目的として、開設以来流通拠点として食生活の安定と向上に寄与して参りましたが、近年の卸売市場を取り巻く環境は、様々な要因によりますます厳しくなっており、全国中央卸売市場協会でも卸売市場を取り巻く急激な環境の変化に自ら対応するため、市場システム改革委員会を発足させ様々な課題に積極的に取り組んでおります。

今後、国や市場システム改革委員会の動向も見据えながら市場関係業者の経営体質強化、取引方法改善、衛生的な施設整備など積極的に行うとともに、食への信頼感を高めるため、安全・安心を基本とした市場の機能充実に努力して参りたいと考えております。

討論 (要旨掲載)

甲府市・中道町・芦川村・上九一色村合併協議会設置について、及び平成十四年度一般会計補正予算中、歳出第二款総務費、中核市構想推進事業費等にかかる総務管理費を追加するための補正について

【反対討論】日本共産党

今回の合併は合併特例債による国の財政支援に依拠して描くもので、合併特例債が新たな借金を増やすことは明らかです。

また、法定協議会では是非の論議を行わず、合併のための政治的及び事務的な協議と調整に終始している例が多いようです。

今回の合併について甲府市民には是非を判断できる情報や機会を与えられていません。メリット・デメリットも明らかにされないで、合併に突入する可能性の高い法定協議会を設置する事は急ぐべきではありません。

問題は、甲府市のみならず中道町・芦川村・上九一色村の未来に関わるものです。自治体は国や県のためにあるのではなく、住民のために存在しています。住民の生活レベルで住民の目線にたつて合併は判断すべきです。甲府市は、徹底した判断材料を提供する事やアンケートを全市民的規模で行い、市民に対して論議を深めることで

はないでしょうか。そうした事がなされないまま協議会が設置されることには反対です。

【賛成討論】日新クラブ

任意合併協議会では、関係四市町村の概要、基礎的データについて整理したほか、各市町村の公共施設や地域施設の活用状況を視察し、地域の状況についての認識を深めるとともに合併協議会を開催し、住民への周知啓発にも積極的に努められてきたところであり、協議内容や事業活動はホームページへの掲載や合併協議会だよりを発行し、市民への情報提供の機会が増え、理解も一層充実してきたものと思われまますので、四市町村が目指すまちづくりをはじめ、新市建設計画の策定や合併協定項目、関係市町村の行政制度の調整など、合併に関するあらゆる事項を具体的に協議するため、早急に法定合併協議会を設置すべきであります。

市町村合併は、行財政の効率化や多様な人材の結集を促進し、住民福祉の向上と自立した都市づくりを目指すものであり、法定合併協議会を設置し具体的な将来構想や新市建設計画の協議を進めていくことにより、一体的な都市の姿がより鮮明に提示され、地域の特色が生かされたまちづくりが実現することを期待して賛成の討論いたします。

平成14年9月甲府市議会定例会議案審議結果

議案番号	件名	付託委員会	議決月日	結果
議案第61号	甲府市・中道町・芦川村・上九一色村合併協議会の設置について	総務	9月12日	原案可決
議案第62号	専決処分について(甲府市市税条例の一部を改正する条例制定について)	総務	9月12日	承認
議案第63号	平成14年度甲府市一般会計補正予算(第2号)	分割	9月12日	原案可決
議案第64号	平成14年度甲府市老人保健事業特別会計補正予算(第3号)	民生文教	9月12日	原案可決
議案第65号	平成14年度甲府市土地区画整理事業用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)	経済建設	9月12日	原案可決
議案第66号	平成14年度甲府市介護保健事業特別会計補正予算(第1号)	民生文教	9月12日	原案可決
議案第67号	平成14年度甲府市下水道事業会計補正予算(第1号)	環境水道	9月12日	原案可決
議案第68号	甲府市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	総務	9月12日	原案可決
議案第69号	甲府市国民年金印紙購入基金条例を廃止する条例制定について	総務	9月12日	原案可決
議案第70号	甲府市悠遊館条例の一部を改正する条例制定について	総務	9月12日	原案可決
議案第71号	甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	経済建設	9月12日	原案可決
議案第72号	甲府市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	環境水道	9月12日	原案可決
議案第73号	市道路線の認定について(国母一丁目4号線)	経済建設	9月12日	原案可決
議案第74号	市道路線の認定について(増坪7号線)	経済建設	9月12日	原案可決
議案第75号	平成14年度甲府市一般会計補正予算(第3号)	分割	9月12日	原案可決
議案第76号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	民生文教	9月12日	原案可決
議案第77号	市政功労表彰の決定について	総務	9月12日	原案可決
議案第78号	教育委員会委員の任命について	総務	9月12日	同意
議案第79号	公平委員会委員の選任について	総務	9月12日	同意
議案第80号	平成13年度甲府市各会計別決算の認定について	決算審査特別		閉会中継続審査
議案第81号	平成13年度甲府市各企業会計別決算の認定について	決算審査特別		閉会中継続審査
甲議第12号	議会運営委員会の補欠委員の選任について	省略	9月3日	選任
甲議第13号	無年金障害者の救済に関する意見書提出について	省略	9月12日	原案可決
甲議第14号	議員派遣について	省略	9月12日	派遣決定



# 意見書



関係機関へ提出

(要旨掲載)

## 無年金障害者の救済に関する意見書

わが国では、昭和三十六年より国民年金法が施行され、国民首年金が実現した。国民年金法の施行にあたっては、昭和三十四年に厚生省より各都道府県知事宛てに通達が次のように出されている。

「社会保障制度の一環として、国民年金制度を確立し、老齢、身体障害及び母子世帯の状態にある国民すべてに年金を支給し、これを生活設計の支柱として国民生活の安定を図る体制を確立することが必要となったのである。」

このように、原則として、すべての成人障害者が年金制度の対象とされながら、現実には重度障害者でありながら、年金が受けられず厳しい生活状況に置かれている人々がいる。

国は、平成六年の年金制度改正の際の衆参両院での附帯決議において、無年金障害者問題について「福祉的措置を含めた速やかな検討」を掲げ、平成七年策定の「障害者プラン」においても、「無年

金者の問題については、年金制度のあり方全体をにらみながら年金制度の中で対応するか福祉的措置で対応するかを含め、幅広い観点から検討する」としている。しかし、未だに具体的対応策は示されていないままである。

障害者が地域で自立し、憲法に定められた「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を現実のものとするためには、年金をはじめとする所得保障制度の役割は極めて重要なことである。国は、社会保障の理念に基づき、「障害者プラン」を踏まえ、早急に対応を進めるべきである。

よって、無年金障害者の救済措置を速やかに講ずるよう強く要望する。

## 請願・陳情審査結果

### 採択

- ・「無年金障害者の救済に関する意見書」に関する請願
- ・甲府市がおこなう健康審査をより受けやすくしていただくための請願
- ・不採択
- ・地域医療を守るための意見書提出を求める陳情
- ・医療制度改善のための意見書提出を求める陳情
- ・「住民基本台帳ネットワーク見直し」の決議を求める陳情

## 決算審査特別委員会を設置

本定例会に「平成十三年度甲府市各会計別決算の認定について」及び「平成十三年度甲府市各企業会計別決算の認定について」の議案が提出されました。

議事では、九月十二日の本会議で、これを審査するための「決算審査特別委員会」を設置しました。

そして、委員十四名を次のとおり決め、閉会中の継続審査に付することにしました。

委員会の審査結果は、十二月定例会で報告される予定です。



委員長	内藤 幸男
副委員長	福永 稔
委員	依田 敏夫
	桜井 正富
	山村 勝一
	宮川 章司
	堀内 征治
	小越 智子
	海野平八郎
	山村 雄二
	柳沢 暢幸
	原田 英行
	中山 善雄
	清水 節子

## 人事案件

本定例会に、教育委員会委員の任命、公平委員会委員の選任についての議案が提出され、全員異議なく同意されました。

- 教育委員会委員 小田切常雄
- 公平委員会委員 望月 政男

## 常任委員会

### 委員の変更

環境水道委員会の小沢綱雄委員が総務委員会に、総務委員会の福永稔委員が民生文教委員会に、民生文教委員会の川名正剛委員が環境水道委員会に所属変更になりました。

## 議会運営委員会

### 委員構成の変更

川名正剛委員の辞任により、空席となっていた議会運営委員会の委員に福永稔議員が就任しました。

## 先進都市を視察

議会が閉会中でも、議員たちは調査・活動を続けております。環境水道委員会：水道水源の保全・生ゴミの堆肥化について

白石市・いわき市・仙台市に、経済建設委員会：中心市街地の活性化について

福井市・高岡市を訪ね熱心に勉強してきました。

## 市政功労表彰

### 四氏を可決

本市自治の振興を図り、公共の福祉増進のために功績顕著であったことから、次の方々をそれぞれ市政功労表彰するに於いての議案が提出され、全員異議なく可決されました。

- 布能 壽英
- 川合 和雄
- 太田源一郎
- 望月 弘子

## 直しの決議を求める「陳情

- 閉会中継続審査
- ・石和町における最終処分場用地の早期確保を求める請願
- ・法の不備等により無年金状態に置かれている外国籍甲府市民への特別給付金支給等のお願い
- ・有事関連三法案の徹底審議を求める請願
- ・甲府市立小学校統合案の白紙撤回を求める請願
- ・介護保険制度の抜本的な改善のための意見書提出を求める陳情

# 議会関係各室案内

電話 (055) 237 - 1161

## 《市役所本庁舎一号館二階》

議会関係各室の案内図です。  
 議員の控室は本庁舎一号館二階にあります。  
 また、本庁舎一号館入口右側に議員登庁表示板が設けてありますので、議員に面談などご利用の方は表示板をご確認の上、議会事務局までお申し出ください。

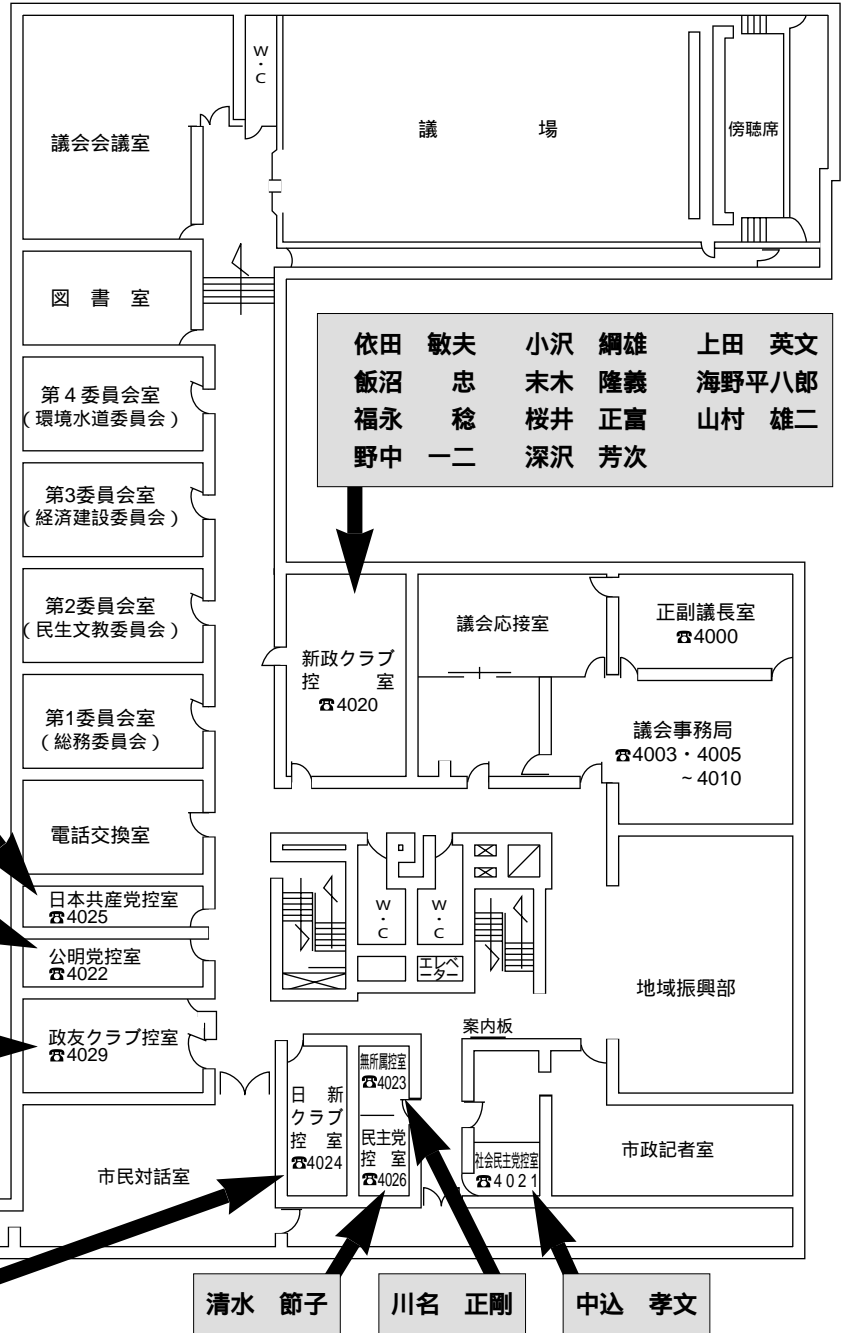
( 会派代表者 )

加藤 裕 石原 剛  
 小越 智子

秋山 雅司 堀内 征治  
 大村幾久夫 中山 善雄

森沢 幸夫 内藤 幸男  
 斉藤 憲二 細田 清  
 雨宮 年江 谷川 義孝  
 山村 勝一 柳沢 暢幸

小野 雄造 宮川 章司  
 金丸 三郎 原田 英行  
 保坂 一夫



## 《本庁舎一号館正面入口》

### 甲府市議会インターネット情報

甲府市議会の会議録と議会だよりは、甲府市のホームページでも見ることができます。

URL : <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/>

議会、議員、議会だより等に関するご意見、ご質問はこちらにどうぞ。

[gikai@city.kofu.yamanashi.jp](mailto:gikai@city.kofu.yamanashi.jp)

### 議会図書室のご利用を

議会図書室には現在二千冊余りの蔵書があり、市民の皆様にもご利用いただくことができます。  
 政治、経済や甲府市の資料などが収蔵されておりますので、ご希望の方は議会事務局総務課 二三七-二六一 内線四〇〇七までご連絡下さい。